

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.603

竹の子会総務委員会

令和2年1月16日

新年のご挨拶



第64期
会長

川上 祐輔

会員の皆さま、ならびに特別会員の皆さま、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくをお願いいたします。

今期64期も7月にスタートし、無事折り返しを過ぎ、新年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆さまのご助力、伝統に裏付けられた会の強さ、そして自分を会長として支えてくれた現役会員のおかげだと感じます。誠にありがとうございます。

半ばですが今期を振り返るとさまざまな事がございました。7月の総会懇親会より始まり、本会としての活動だけではなく、交通遺児に関わる事業、大垣市青年のつどい協議会に関わる事業などを行ってきました。その裏では、副会長はじめ多数の会員が私の知らないところで切磋琢磨し、苦労を重ねていたことは想像に難くなく、それぞれの事業に参加するたびにそれが伝わってきました。竹の子会とは彼ら自身だと感じます。そのような会員と会長として関われることは本当に嬉しく、私にとって刺激になる64期前半を過ごさせていただきました。

まだ半期の折り返しを過ぎた時期ではございますが、会長として感じるのは、大垣竹の子会はその団体とも比べて磐石であり結びつきが強い団体であるという事です。会員出席率も軒並み70パーセント近くの水準を保ち、多くの会員が事業に積極的に参加しています。事業や役員会のあとの懇親会などもしっかり、大垣竹の子会というものが会員にとって重きを置く存在になっていると感じられます。30代から40代、仕事や私生活に費やす時間は人それぞれです。その中でも時間を作り会の活動に参加してくれている姿を見ると自分の身も引き締まる思いです。それは会員が仕事、私生活に支障をきたすことなく真摯にそれと向き合い、その中でも会を大事にしてくれていると感じる部分です。そのように会の活動に参加してくれる会員達は多くの笑顔を事業や懇親会の中で見せてくれます。会の活動に参加して楽しい、何でも話ができる仲間がこの会にいる。そのような

姿を見て私は結びつきの強さを感じることができました。

また半期の活動を鑑みると、役目を果たすにあたりお互いが足りない部分を補って活動できているとも感じられます。スローガンでもうたいましたが、「信頼」という言葉の体现です。活動の中では仕事や家庭のため、どうしても自分ができないこと、その場にいられないことがあります。その時のため、委員会の中で役割を分担し、自分がいらなくてもだれかが果たしてくれるという形もありました。だれかを信じ、頼る。「信頼」という言葉が表す姿を見られました。それも結びつきを強くする一つの形であると私は考えます。

しかし、まだ残りの半期で達成しなければならない課題も多くあります。一つはスローガンにもある「芯心」という言葉で表せる自分の思いをもっと貫いて欲しいということ。会長としても自分自身が達成し、その姿を会員に見せていきたいと強く思います。もう一つは会の至上命題でもある会員の増強です。こちらは三島幹事長はじめ、役員会の中でも役員全員が情報を共有し、危機感を共有する新しい試みを始めました。それが正解か今は分かりませんが新しいことに挑戦し、トライアンドエラーで次に繋げ、結果を出していきたいと考えています。目標は新入会員100人の獲得です。それに見合う魅力がこの竹の子会にはあると思います。その魅力をいかに伝えるか、会全体で考えていきたいと思っています。

令和元年という新しい元号に会長となり、今年は令和2年。会長予定者も決まり新たな期の幕開けも近づいております。また来期は記念期である65期ということで華々しい年となります。今期のスローガンにもある「進歩」を、会長である自分自身、そして会員全員が果たし、しっかりと来期にバトンを繋げるよう、今期を邁進していく所存でございます。まだまだ未熟な部分、至らない部分はございますが、自分自身が誰よりも会を愛し、会の為には努力は惜しみません。この決意をもって、新年のご挨拶と代えさせていただきます。本年もどうぞ大垣竹の子会をよろしくお願いいたします。

例会(家族親睦会)

日時：令和元年11月24日(日) 場所：こみゅれす美濃味匠



親睦委員会

井口 静典

皆さんこんにちは。第64期親睦委員の井口静典です。11月24日に家族親睦会を開催しました。花木親睦委員長を中心に委員会一丸となって準備してまいりました。

当日は、会員家族を招いて、楽しい時間を過ごしていただくとともに、大垣竹の子会の活動への理解を深めてもらい、家族同士の親睦を図るという目的のもと、活動をさせていただきました。

今回は、ビュッフェ形式で食事をとり、ひょうたんランプ作り、白玉パフェ作りのアトラクションを行いました。ビュッフェ形式の昼食では、事前にメニューを選ぶ段階においても、お店に任せきりせず、ご家族のアレルギーの確認、お子さんや奥さんが喜んで頂けるようにメニューを検討しました。皆さんが賑やかに食事をされており、満足していただけたかと思います。同期の中尾くんのお子さんが唐揚げを笑顔で頬張る姿が印象的でした。

続いて、ひょうたんランプ作りを行いました。最初は担当委員会だから作らなくていいや、と次の準備をしていましたが、皆さんの楽しむ姿を見ていると気付いたらひょうたんに穴を空けていました

(笑)。ひょうたん1つでも、顔を描く人、カラフルに色を塗る人、キャラクターを描く人など各自の個性が出ていて面白かったと思います。また、家族で作品を作る事で、会話や笑顔、助け合いが生まれ、いい時間になったと感じました。

最後に白玉作りと白玉パフェ作りです。白玉作りは私の説明を元に各テーブルごとに行いました。こちらも自身の家族やほかの会員のご家族と力を合わせて楽しみながら白玉を作っていたのが印象的でした。白玉が出来たら、パフェ作りを行いました。パフェも作ったものに白玉をのせるだけではなく、各自好きな物をトッピングした上に白玉をのせて食べる形をとりました。アイスや果物など、さまざまなトッピングを用意したので、皆さん思い思いのトッピングを楽しんでいただけた様子でした。個人的には白玉がおいしくて、パフェを3杯いただきました(笑)。

私にとって親睦委員会として初めての事業でしたが、家族親睦会が常に笑顔にあふれた会になり、皆さんに満足していただけたことを実感し、事業が終わったときに安心と達成感に包まれました。当初の事業の目的も達成できたいい事業だったと思います。ご参加いただいた皆さん、誠にありがとうございました。



例会(交通遺児クリスマス会)

日時：令和元年12月1日(日) 場所：大垣フォーラムホテル



奉仕委員会
副委員長
山下 洋平

皆さんこんにちは、第53期入会の山下です。早いもので第64期も半分が過ぎました。私の竹の子での活動もあと半年かと寂しく思うこの頃です。

さて、去る12月1日に大垣フォーラムホテルにて交通遺児クリスマス会を行いました。今回の企画はクリスマスキャンドル製作とトレフルサクソフォンカルテットという4種類のサクスのアンサンブルの演奏です。

子どもたちには、いつもより早く16時30分から受付してもらい、順にオリジナルクリスマスキャンドルを作ってもらいました。私が思っていた以上に皆さん集中していて、さまざまな個性が出た物ができたと思います。クリスマス会での製作教室は私の今までの経験ではしてこなかったもので、新しい取り組みとしてよかったと思います。

サクソフォンカルテットについても、演奏を聴きながら食事をするという大人の雰囲気でもよかったのですが、サクスの特徴からか音量が大きめで少々会話がしにくかったかなと感じました。しかし、このような体験も今までにはなかったものなので良かったです。余談ですが、最後に「きよしこのよる」

をみんなで歌う時にもサクソフォンカルテットさんたちの演奏で歌いましたが、生演奏に慣れていないためか、皆さん声が上ずっていました。

あとは毎年恒例の会長サンタ、こちらも会長の英語オンリーでの会話がとても良かったです。全体を通して委員会でいろいろシミュレーションして、どのようにすればスムーズに行えるか考えてきましたが、至らない部分が多かったなと反省しております。会員の皆さんに多数出席してもらい、さらに子どもたちともたくさん会話してもらって盛り上げていただき感謝しております。ありがとうございました。

今回子どもの参加が7名と私の入った頃からすると非常に少なくなってきております。現在登録の子どもたちの人数は20名弱で、高校生以上が多く、なかなかご参加いただけない状況ですが、この状況でもこれから一人ひとりがどれだけ親身に付き合えるかが大事になってくると思います。大垣竹の子会のメイン事業の一つである交通遺児の事業をよりよい事業となるよう会員みんなで考えていこうと思います。



大垣竹の子会OB会ゴルフコンペ

日時：令和元年11月6日（水） 場所：大垣カントリー倶楽部



親睦委員会
副委員長

野原 利秀

皆さん、こんにちは。60期入会の野原利秀です。去る11月6日に大垣カントリー倶楽部にて行われました、大垣竹の子会OB会ゴルフコンペに参加させていただきました。

私事ではございますが、実は入会するまではゴルフが大嫌いでした。なぜ嫌いだったと申しますと、初めてのゴルフは豪雨の中でのプレーになり、一緒にラウンドしていた社長にプレーをせかされ、事務所に戻って会社で休憩していると社長に「ゴルフで遊んできたんやで夜は働くんや」と怒られた経緯があったためです。やりたくもないことをやり、社長には怒られ、そんな思いをするならゴルフなんてやりたくないと思っていました。そんな私ですが、今では現役会員の中で一番のゴルフ好きだと思います。

現役会員の中には、昔の私のようにゴルフが嫌いな人はいると思います。大垣竹の子会の事業や人事もそうだと思いますが、断ることは簡単です。ですが、一度挑戦、参加してみると意外に楽しかったりしますので、私がゴルフを好きになったように、ゴルフの魅力を現役会員に伝えていきたいと思います。



お誕生 おめでとうございます。

山下 洋平君に

長女 紗和(さわ)ちゃんが生まれました。

令和元年12月19日

2

3

月の予定

2月度例会(講師例会)

日にち：令和2年2月21日（金）

場 所：青年の家

3月度例会(合同例会)

日にち：令和2年3月21日（土）

場 所：青年の家（予定）